

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 東京都江東区立深川第一中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒 136-0072
東京都江東区森下4-9-22
 E-mail : mitsugon615@yahoo.co.jp
 Website : _____
 児童生徒数：男子80名 女子75名 合計155名
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

今年度、本校では平成27年度の研究発表に向けてESD教育を絡めた教育活動を実践しました。「総合的な学習の時間」を14時間活用しながら学校全体で異年齢集団のグループを形成し、各テーマに沿って追求学習を実施しました。以下は、実践するにあたり本校で考えた研究内容であります。今年度は、この研究内容を基本としてESD教育を推進したことを報告させていただきます。

【研究主題】

《「総合的な学習の時間」で身につける「生きる力」の育成》
～異年齢集団活動「深一学」を通して～

【主題からの目的・身につけさせる力】

生徒たち一人ひとりが自ら考えた課題を追究し、身につけた知識を「生きる力」「生きた学力」として高めていく事で、ESD教育の目標である「持続可能な社会」の形成に貢献できる人材を育成する。

◎どのような力を身につけさせたいか…「7つの能力」

- 1、コミュニケーションを行う力
他者と協同し、様々な情報を収集し、精査する力
- 2、他者と協力する態度
他者と協同し、客観的な意見を柔軟に取り入れ考察する力
- 3、つながりを尊重する態度
異年齢との学習を行う中でお互いを尊重する態度
- 4、批判的に考える力
クリティカルシンキング
- 5、未来を予測して計画を立てる力
学習対象の未来を分析し、自らの考えを確立する
- 6、多面的総合的に考える力
様々な角度から物事をとらえ柔軟に考察し、答えを導く力
- 7、進んで参加する態度
積極的に学習に取り組み、自分自身の考えを表現する力

◎学習する上で活用するスキル

- 1、比較スキル…学習対象を比較・分析する
- 2、仮定スキル…学習対象を仮定し、未来を予測する
- 3、類推スキル…対象同士の共通点を発見し、他の学習対象に対する予測を行う。
- 4、分類スキル…学習対象を分類し系統化して考察を深める。
- 5、コミュニケーションスキル…他者と協同し様々な情報を収集し、精査する。
- 6、情報収集スキル…ICTや様々な機関・地域からの情報を収集する

◎今年度の各グループおよびテーマ

- ①人間、動物の体の不思議
- ②人間の心の不思議
- ③世界の諸問題、食文化
- ④芸術、文化
- ⑤物理、力学
- ⑥宇宙と生命

◎成果と課題

本校では、ユネスコスクールおよびESD教育に取り組むことで、「総合的な学習の時間」を有意義な時間と感じている生徒が増えています。また、「総合的な学習の時間」を通して、自分で課題を設定し、追究する生徒も増えつつあります。これからも持続可能な社会を意識し、生徒たち一人ひとりが自ら考えた課題を追究し、身につけた知識を「生きる力」「生きた学力」として高めていく事が課題であると考えています。そして、ESD教育の目標である「持続可能な社会」の形成に貢献できる人材を育成することも課題として取り組みを進めていきます。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()